24 西伊豆歩道（廻り崎コース）

富士山を望む岬の先端で愛の鐘を鳴らし愛を確かめ合う恋人たちのメッカ

廻り崎コースは**富士見遊歩道**と接続している。突端の廻り崎は通称「**恋人岬**」と呼ばれ、富士山と夕日の美しい岬である。ここで好きな人の名前を呼んでラブコールベルを鳴らすと愛が実ると言われている。この後、恋人岬事務所で「恋人宣言書」にサインすれば「恋人宣言証明書」と記念品が、お二人が結婚すれば祝電と記念品がもらえるほか、数々の特典がある。

毎年、2月14日のバレンタインデーと3月14日のホワイトデーには、恋人たちを対象にしたイベントが行われる。

修善寺駅から**松崎**行き、**長八美術館**行きのバスで1時間3分、**小下田**で下車。コースの入口は国道を少し行った右手に案内板がある所であるが、その前に**最福寺**へ寄っていこう。**最福寺**には先代住職が私財を投じて作った資料館・**夢の実現堂**（入館無料）があり、三舟（勝 海舟・山岡鉄舟・高橋 泥舟）や三名僧（一休・白隠・良寛）の墨跡、当地出身の第14世本因坊秀和が使った囲碁セット、土肥出身で日本のカラー写真の開発者・長口宮吉の文献など、その他貴重な資料が展示されている。寺の入口には囲碁殿堂入りを果たした秀和の顕彰碑もある。

境内で4月初めには平成13年に登録された新品種の桜・**イズサイフクジシダレ**（伊豆最福寺枝下れ）が咲き、毎年花祭りが開催されている。

▲イズサイフクジシダレ

コースの案内板から緩やかに簡易舗装された道を下る。段々になったお墓と金比羅神社の前を抜けると、正面にキラキラと輝く海と廻り崎が望める。時折、鐘の音が風に乗って聞こえてくるのは、岬の先端で恋人たちが鳴らすラブコールベルである。小さな橋を渡ると端正な顔をした石仏（馬頭観音）が1体。左手に「おかる滝」と呼ばれる小さな滝が落ちている。

道なりに下り、大きくカーブした先の分岐を左に下る。この辺りアロエの栽培が盛んなところで、冬場にはあたり一面アロエの花だらけになる。

二つ目の小さな橋でまた分岐。その先に祠と不動の滝がある。分岐を右に下れば**米崎**の港だ。小さな漁村で港には数隻の漁船が係留されている。伊勢エビ漁が盛んで、秋の漁期には伊勢エビの水揚げ風景が見られる。

急な坂を上り、集落の外れから山道へと入る。米崎の集落を後にして急な舗装道を上がると分岐。左に上る道は恋人岬のバス停へ通じている。コースは右の山道を行く。マツ林や竹林を過ぎ海岸性特有の樹林の中を歩く。道が急になると富士見遊歩道・恋人岬へのボードウォークにぶつかる。階段を上がって恋人岬へ。

ウッドデッキの**恋人岬**は富士見展望台。北に土肥方面の山並み、そして洋上に浮かぶ富士山、遠く南アルプス。西に三保方面、駿河湾に行き交う漁船の姿もオモチャのようだ。

デッキには**ラブコールベル**とブロンズの「アモーレ」像があり、ひきりなしに訪れた恋人たちが鐘を鳴らしていく。

ボードウォークを戻り、急な階段を上がると、途中にもう一つのラブコールベルと**めがね記念碑**がある。めがねを覗いて富士山を見るのも面白い。

▲ウバメガシの林

舗装された坂を上り**若山牧水の歌碑**を見送ると、右にコースの案内板がある。真っすぐ行けば恋人岬のバス停へ行く。ちょっときつい丸太の段を上ると三等三角点のある**大早山**。丸太の段から敷石、山道となり、マツやメダケが繁る尾根道が続く。

左に分岐を二つ見送ってウバメガシの林を丸太の段の上り下りを繰り返すと舗装道（市道）の終点に出る。休憩舎がある所から畑の中の道を上り、再び舗装道に出たら右に上れば**このコースの終点・小峰**のバス停。近くの民家に土肥桜の木がある。

左に舗装道（市道）を行くと土肥桜の咲く花木園を経て恋人岬のバス停に上がれる。

コースタイム（参考）

修善寺駅 —バス 67分— 小峰 —40分— 大早山 —40分— 恋人岬（ふるさとハウス） —25分— 富士見展望台（恋人岬） —10分— 富士見遊歩道 —15分— 米崎港 —15分— 小下田 —20分— 修善寺駅 —バス 63分— 修善寺駅

所要時間：約1時間25分

▲恋人岬

▲恋人岬ボードウォーク